



保育園問題で途方に暮れていた時に、真っ先に駆けつけ保護者や保育園の先生に寄り添って下さったのは味口さん1人だけでした。あの時、どれ程心強かったでしょう。本当にありがとうございました！

しーちゃん



2人の子を持つシングルマザーです。コロナの緊急事態宣言で収入不安定、万策尽きて、これからの暮らしに不安でいた時、迷いながら味口さんに電話、すぐに駆けつけてくれました。

1人で悩んでいたときも、親身になって聞いてくれ、そのままにしない。聞いた数分後にはもう動き出している。毎日、朝から晩まで。それが味口さんです。

高羽小学校保護者Mさん

なんでも相談会 やっています



くらし、お仕事、
ご商売、学校や
子育てなどお気軽に
ご相談ください！

日本共産党
東灘・灘・中央地区委員会

(神戸市灘区灘南通5-2-2-1)

12/18(日)、2023年1/28(土)、
2/25(土)、3/19(日)、4/22(土)
時間は午前10時～12時

ジュネス六甲.1

(神戸市灘区弓木町2-3-21
臨時相談会場としてお借りしています)

205号室 インターフォンを押してください

12/17(土)、2023年1/29(日)、2/26(日)、
3/18(土) 時間は午前10時～12時



お問い合わせは ☎ TEL 881-2581 味口としゆき 検索



この冊子を保存して頂き、お困りのことがあればご活用ください。もちろん、直接のご連絡もお待ちしています。

神戸市会議員

あじ ぐち

味口 としゆき

大学誘致よりも

王子公園・
王子動物園
の充実を

日本共産党

かけつけます
あなたの声を
聞くために

灘区のみなさんのご支援で神戸市会へ送っていただき、3期12年かけまわってきました。この3年間は、コロナ禍のもとで、市民のくらし・雇用・商売・学校生活が深刻な困難に直面しました。私は、なんでも相談会を開き、市民の意見をお聞きし、議会で改善をもとめ、灘区のみなさんの願い実現へ全力を挙げてまいりました。ここで痛感したのは、やはり政治を変えなければならないということです。“困っている人を、ほっておけない”という原点の立場で、引き続き灘区を走り回ります。

味口としゆき



王子公園・動物園の再整備について質疑

PROFILE

1969年神戸市生まれ神戸市育ち。大学は大阪経済大学に通いました。卒業後は商船港運(株)に勤務。神戸港で働きながら、働く仲間と労働組合運動にも取り組みました。

阪神・淡路大震災のときに、若い仲間と震災ボランティアに取り組み中で会社を退社。その後も、青年の雇用問題

や大学生の高学費問題など、青年運動にかけ回りました。その経験から、もっとたくさんの困った人をほっておけないと2011年市会議員に立候補し、初当選することができ、現在3期目です。

趣味／銭湯めぐり・ボウリング
妻と息子と3人で暮らしています

高羽小学校の仮設校舎なくなり、喜びの声が

高羽小学校の運動場の仮設校舎がなくなり、本校舎が出来ました。

運動場が広くなり「複数の学級が運動場で体育の授業ができるようになった」「体育の授業をやっていても、運動場で理科の観察ができるようになった」と、喜ばれています。

また、本校舎が出来たことにより「空き教室が学年ごとに出来た」「お楽しみ会が広い場所で出来るようになった」と、大変喜ばれています。

私が、改善を求めはじめたのが2014年だったので、足掛け8年かかりましたが、ようやく子どもたちの教育環境がよくなったことをうれしく思います。

BEFORE



AFTER



王子公園・動物園をまもろう

プールをなくさないで

あちこちに署名!

みんなの

テニスコート・サブグラウンドの縮小やめて

署名は5万人を超えました

大学ではなく、狭い小学校のグラウンドをなんとかして

市民のみなさんと語り合いました(9月17日)

大学誘致ありきで市民の施設をなくさないで

味口議員は



「家族で楽しめるプールは、なくさんといて」「テニスコートを縮小するのはやめて」「山並みがみえる景観をなくさないで」「大学なんて、なんでいるの?」これだけの市民の声が寄せられているのに、久元市長は「大学誘致のデメリットは何もない」(9月22日本会議での答弁)と、大学誘致に固執しています。

灘区のみなさんが愛着をもっておられる王子公園・動物園が、もっと充実されるように、引き続き署名を集め、灘区のみなさんの願い実現へ力をつくします。

大学誘致
反対89%

パブリックコメント
では…

みなさんのわが家実現!

味口としゅま
かいある記

灘区
マップ



神戸市議団で署名集め



福住公園で"集い"



●篠原伯母野山町の 買い物難民対策

3丁目の住民から「バスを走らせてほしい」「買い物ができるようにして」と要望があり、現地をウォッチング。地域の課題解決へ奮闘中。



●鶴甲会館の移転問題解決へ

鶴甲公園に開設。公園もリニューアルされ、地域のみなさんや子どもたちに活用して頂いています。



●篠原台土砂災害

現場にかけつけ、再発防止をもとめてきました。堰堤工事がすすんでいます。

●高羽小学校の 教育環境改善へ

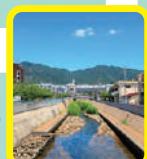
新しい校舎の建設、仮設校舎は撤去され、グラウンドが少しひろくなり、子どもたちが喜んでくれています。



六甲

●将軍通の溝改善

ご近所のみなさんから「溝が深く怖い」などの声が寄せられ、東部建設事務所と現地を調査。溝の工事が出来て喜ばれています。



六甲道

「自転車が増え、高齢者とぶつかりそうに」建設事務所の職員にも立ち会っていただき、自転車の危険場所をウォッチング。



「坂になっていて車イスの人が落ちそうになった」この声を聞き、神戸市とかけあい、深田町の溝に柵をつくってもらいました。



王子動物園

王子公園

灘

摩耶

都賀川

岩屋

西灘

大石

新在家

石屋川

●灘の浜小学校・灘さくら支援学校開設

2014年、味口議員がなぎさ小学校の仮設校舎解消へ、質疑したことで計画がつくれ、新設校が開設されました。



●43号線歩道橋の エレベーター設置運動

「新在家の国道43号線歩道橋にエレベーター設置を」高齢者、障がい者、子育て世代の切実な願いです。実現へ力を尽くします。

●神鋼石炭火力発電所の 稼働中止を

市長が「地球温暖化対策には強い決意をもって取り組む」としたのなら、「石炭火力発電所稼働はやめよと神鋼に求めるべき」と、市長の決意を求めました。



日本共産党市議団は、長引くコロナ禍に加え円安・物価高騰で苦しむ市民や事業者のところに駆けつけ、生の声をお聞きし、議会へと届け、解決へ全力投球。市民のみなさんからは「困ったときは共産党」との声を頂いています。

市民目線で共同をつくり、市民の願いを実現

神戸の中学校給食は、長年「家庭弁当持参」でした。日本共産党は、市民のみなさんと9万を超える署名を集め、中学校での給食を実現。さらに、コストを最優先し民間工場から配送される「冷たい、美味しくない」デリバリー弁当方式の給食の転換を粘り強く求め、ついに「全員喫食のあたたかい中学校給食」を神戸市は表明しました。

日本共産党市議団は、地元産や有機農産物を活かせる安全・安心な自校調理方式、給食の無償化実現へ、とことん頑張ります。

タブーなく、巨悪に挑み、神戸の民主主義を守ります

統一協会（世界平和統一家庭連合）の問題では、自民党神戸市議の仲介で、幹部職員がイベントに参加、市への寄付行為、市からの助成など癒着していることが明らかになりました。

日本共産党市議団は、久元市長名で感謝状まで統一協会関連団体へ渡していたことを示し、「統一協会の広告塔となり、被害をひろげ、神戸市の施策を歪めることは許されない」と、政治家や神戸市と統一協会の癒着関係を断つことを正面から追及しています。



神戸市会に、絶対必要な議席です 日本共産党

神戸市会議員団



抜群の調査力と現場主義で、市政をチェック

2019年、神戸市は、「都市空間向上計画」（素案）を発表。日本共産党市議団は、この「計画」が垂水区や西区の大半を切り捨て、神戸市による開発団地（渦森、鶴甲、ひよどり台、須磨ニュータウン、西神中央、西神南など）への責任を放棄しようする郊外・ニュータウン切り捨て計画であることを明らかにし、各地で市会報告会を開きました。驚いた市民から1176件もの市民意見が神戸市に寄せられ、計画の見直しに追い込みました。

日本共産党議員団作成のピラ▶



実現に向けて
がんばります

市民の声がもっと届く市政に

① ケアに手厚い神戸

- 全区に保健所を復活・保健師の増員を
- 病院統廃合、病床削減ストップ
- 国保料、介護保険料の引き下げ
- 加齢性難聴の方への補聴器購入助成を

② 地域の中小業者、雇用を

- 中小事業者への市独自支援制度を
- 最賃1,500円を神戸から——公契約条例制定を
- 地域型の脱炭素・再エネ事業の育成を

③ 子育て応援の神戸

- 学校給食の無償化を
- 少人数学級の前倒し実施
- 高校卒業まで医療費無料へ

④ いつまでも、どこでもくらせる神戸

- 三宮一極集中の再開発ストップ
- バスの増便と路線の充実
- 脱石炭火力発電、脱原発で、気候危機をただす

⑤ ジェンダー平等推進の神戸

- 同性カップル承認「パートナーシップ制度」
- 性暴力、DV・痴漢ゼロへ
- 「非核神戸方式」を守り、憲法を市政に生かす